

熱 総 審 第 2 号
令和 8 年 2 月 2 6 日

熱海市長 齊 藤 栄 様

熱海市総合計画審議会
(熱海市総合戦略会議)
会 長 小泉 祐一郎

第五次熱海市総合計画後期基本計画案について (答申)

令和 8 年 1 月 1 6 日付け、熱経企第 1 1 4 号で諮問のありました標記について、当審議会
で慎重に審議した結果、全体としておおむね妥当であると判断したため、個別事項について
の審議会意見を附して別記のとおり答申します。

また、熱海市総合戦略会議として、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案
及び第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について慎重に審議した結果、全体と
しておおむね妥当であると判断したため、個別事項についての審議会意見を附して別記のと
おり報告します。

なお、答申した後期基本計画案及び意見した総合戦略案に掲げられた施策の推進について、
全庁的に取り組まれるよう当審議会の総意として申し添えます。

<特記事項>

総合計画審議会

- ・答申 「第五次熱海市総合計画後期基本計画案について (答申別記)」

総合戦略会議

- ・意見 「第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び第三期熱海市まち・
ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見書」

第五次熱海市総合計画後期基本計画案について（答申別記）

後期基本計画

【1】人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち

(2) 地域福祉の推進

P 2 2 行政の取組 市民・地域活動等・事業者に対する支援 4 項目目	
<p>(意見)</p> <p>福祉まつりに特化したことを焦点にするより、地域福祉の法の理念を前提に社会福祉協議会と行政が一体的に連携するという理念を掲げてはいかかがか。</p>	
<p>(原文)</p> <p>〔市民・地域活動等・事業者に対する支援〕</p> <p><u>④福祉に関する様々な属性の事業者や地域活動主体が垣根を越えて集まり、直接市民との交流を図れる「福祉まつり」について、主催の社会福祉協議会と連携し交流の場の提供を支援する。</u></p>	<p>(修正案)</p> <p>〔市民・地域活動等・事業者に対する支援〕</p> <p><u>④地域共生社会の形成を推進するため、社会福祉協議会と連携し、市民と福祉に関する様々な事業者や地域活動主体の交流が図れる場の提供を支援する。</u></p>

(4) 障がい者福祉の充実

P 2 7 行政の取組 市民・地域活動等・事業者に対する支援 1 項目目から 3 項目目	
<p>(意見)</p> <p>障がいのある方の社会参加機会の確保を追加されたい。また交流の機会は福祉まつりに特化しない表現にはいかかがか。障がいのある方への差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図るという理念を1番上にはいかかがか。</p>	
<p>(原文)</p> <p>〔市民・地域活動等・事業者に対する支援〕</p> <p><u>①関係機関と連携し就労機会を確保する。</u></p> <p><u>②障がいのある人となない人の交流の場として既存の「福祉まつり」を、主催の社会福祉協議会と連携し発展させることをはじめ、交流の場の創出を検討していく。</u></p> <p><u>③障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。</u></p>	<p>(修正案)</p> <p>〔市民・地域活動等・事業者に対する支援〕</p> <p><u>①障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。</u></p> <p><u>②関係機関と連携し、障がい者の就労・社会参加機会を確保・支援する。</u></p> <p><u>③社会福祉協議会と連携し、障がいのある人となない人の交流や活動が生まれる仕組みづくりを支援する。</u></p>

【5】安全で安心して暮らし、過ごせるまち

(2) 防災体制と地域防災力の向上

P 8 2 現状と課題 5行目	
(意見) 異常気象という表現はあまり使わなくなってきたため、気候変動という言葉に修正されたい。	
(原文) 〔現状と課題〕 近年では異常気象による風水害や土砂災害などの大規模な自然災害が全国各地で発生しており、本市においても地震・津波に対する備えのほか、多種多様な災害リスクへの対応が求められています。	(修正案) 〔現状と課題〕 近年では気候変動の影響による風水害や土砂災害などの大規模な自然災害が全国各地で発生しており、本市においても地震・津波に対する備えのほか、多種多様な災害リスクへの対応が求められています。

第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び
第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見書

1 第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案

P 5 2 (2) 関係人口との関わり	
(意見) 「2 人口減少問題に取り組む意義」の2つめの課題に対する方向性を示しているため、表現を修正されたい。	
(原文) (2) 関係人口との関わり	(修正案) (2) 関係人口の創出・拡大による地域経済 社会の維持

P 6 1 人口の現状分析 (1) ①総人口の推移 7行目	
(意見) 人口の比較に関して、表記を統一されたい。	
(原文) 老年人口は約2.8倍に増加しています。	(修正案) 老齡人口は184.9%増加しています。

2 第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案

P 3 1. 戦略の体系
<p>(意見)</p> <p>少子高齢化、人口減少が進行しているなか、行政の仕事は住民福祉の向上が第一。安心して暮らし、子育てができる環境をつくることが第一と考えるため、基本目標の順番を変えてはいかがか。また、熱海に戻ってきたい、住み続けたいと思える環境を整え、選ばれる地域にすることが重要である。</p>
<p>(原文)</p> <p><u>基本目標 1</u> 変化しつづける温泉観光地を目指す</p> <p><u>基本目標 2</u> 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する</p> <p><u>基本目標 3</u> 新しい人の流れをつくる</p> <p><u>基本目標 4</u> 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p><u>基本目標 5</u> <u>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</u></p>
<p>(修正案)</p> <p><u>基本目標 1</u> <u>選ばれる地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</u></p> <p><u>基本目標 2</u> 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p><u>基本目標 3</u> 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する</p> <p><u>基本目標 4</u> 新しい人の流れをつくる</p> <p><u>基本目標 5</u> 変化しつづける温泉観光地を目指す</p>
<p>P 11 基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる (3) 産み育てやすい子育て環境の充実</p>
<p>(意見)</p> <p>若い世代の流出要因は働く場、住まい、子育て環境にある。この環境を考えることが基本目標 4 の若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるということである。</p>
<p>(修正案)</p> <p>【具体的事業】 に下記を追加。</p> <p>・多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代にあわせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進 【再掲】</p>

■熱海市総合計画審議会・総合戦略会議委員名簿（任期：令和8年1月16日から2年間）

※敬称略

No.	所属団体	役職	氏名	備考
1	静岡産業大学	教授	小泉 祐一郎	会長
2	熱海市町内会長連合会	会長	石井 倭雄	副会長
3	熱海市男女共同参画推進会議	会長	井戸 真弓	
4	熱海市身体障害者福祉会	会長	岩瀬 輝美	
5	静岡県司法書士会	司法書士	大館 裕司	
6	熱海建設業協会	会長	佐野 茂樹	
7	熱海健康福祉センター	医療健康課長兼 健康危機調整官	田中 安希子	
8	熱海青年会議所	理事長	谷 清和	
9	熱海新聞	記者	土屋 春菜	
10	熱海市PTA協議会	会長	出口 恵	
11	熱海市観光協会連合会	会長	中島 幹雄	
12	熱海市公私立園長会	園長	西島 美智子	
13	三島信用金庫熱海支店	支店長	野中 茂友	
14	熱海営業自動車組合	組合長	原 規公	
15	熱海市社会福祉協議会	常務理事兼 事務局長	福島 和幸	
16	熱海瓦斯労働組合	書記次長	福嶋 敏一	
17	熱海商工会議所 熱海市ホテル旅館協同組合連合会	会頭 代表理事	森田 金清	
18	熱海市校長会	会長	山田 新吾	

■審議状況

回	日程	審議内容
第1回	令和8年1月16日(金)	委嘱状交付 第五次熱海市総合計画後期基本計画(案)、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 諮問・説明
第2回	令和8年2月2日(月)	第五次熱海市総合計画後期基本計画(案) 審議
第3回	令和8年2月9日(月)	第五次熱海市総合計画後期基本計画(案)、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 審議
第4回	令和8年2月17日(火)	答申(案) 審議